

女性とやせ 文化人類学の視点から

磯野真穂（医療人類学・文化人類学）

自己紹介



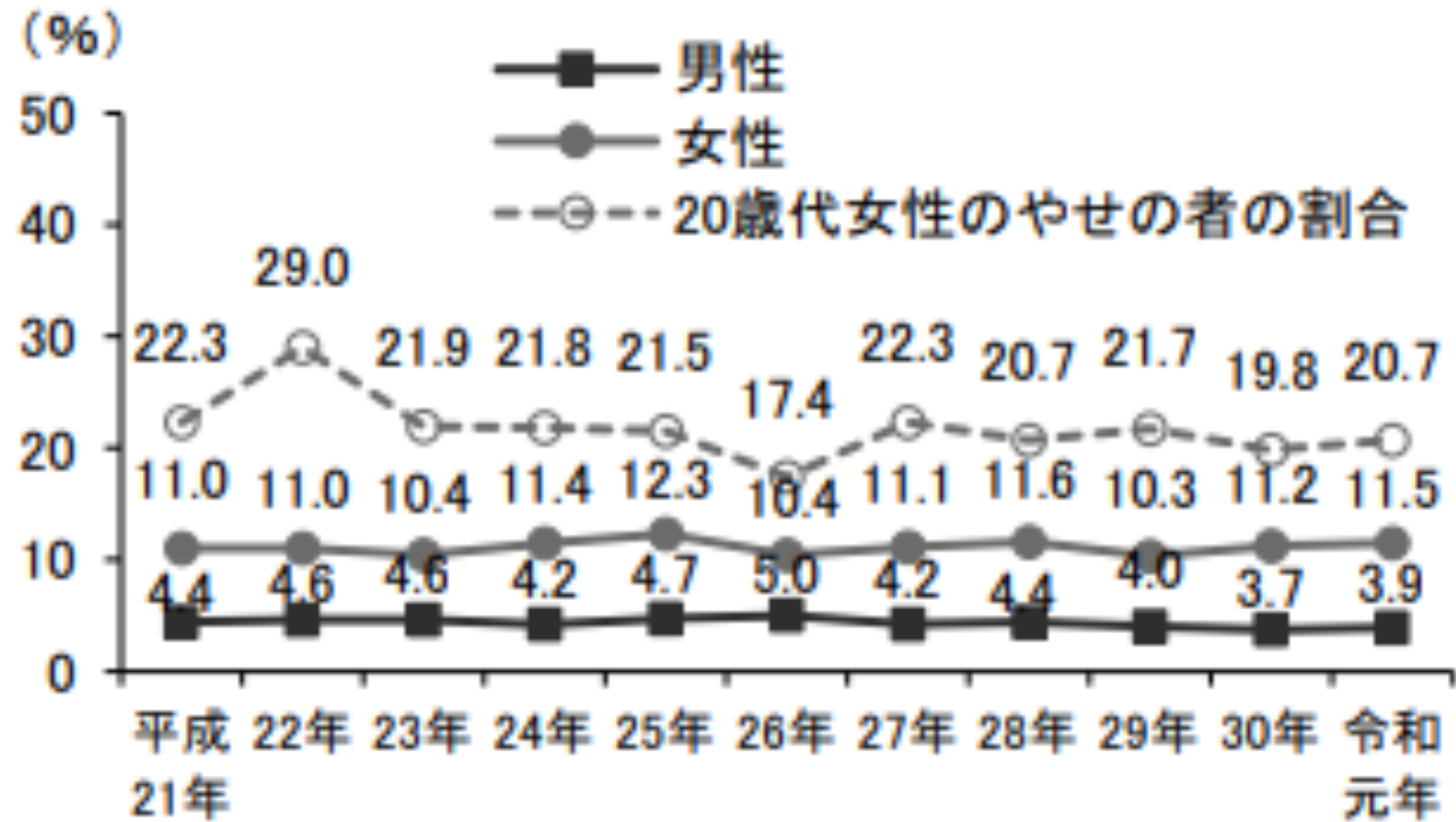
磯野真穂HP
www.mahoisono.com



- 人類学者。専門は文化人類学・医療人類学。博士（文学）
- もともと運動生理学を専攻していたが、オレゴン州立大学留学中に専攻を文化人類学に変更
- 早稲田大学文化構想学部助教、国際医療福祉大学大学院准教授を経て2020年より独立。
- 著書
 - 『なぜふつうに食べられないのか——拒食と過食の文化人類学』（春秋社、2015）5刷
 - 『医療者が語る答えなき世界——「いのちの守り人」の人類学』（ちくま新書、2017）
 - 『ダイエット幻想——やせること、愛されること』（ちくまプリマ—新書、2019）
 - 宮野真生子との共著に『急に具合が悪くなる』（晶文社、2019）9刷

日本女性と痩せ

図 20-1 やせの者(BMI<18.5 kg/m²)の割合の年次推移(20歳以上)(平成21~令和元年)



痩せていても痩せたい

- 国立青少年教育振興機構（2018年）
 - 対象：日本、韓国、中国、米国の高校生
 - 日本の女子高生
 - 4カ国で一番痩せている（BMI 20.2）
 - 標準体重に入る割合が一番多い（71.2%）
 - 体型への満足度が一番低く、約半数が「少し太っている」「太っている」と自分のことを認識

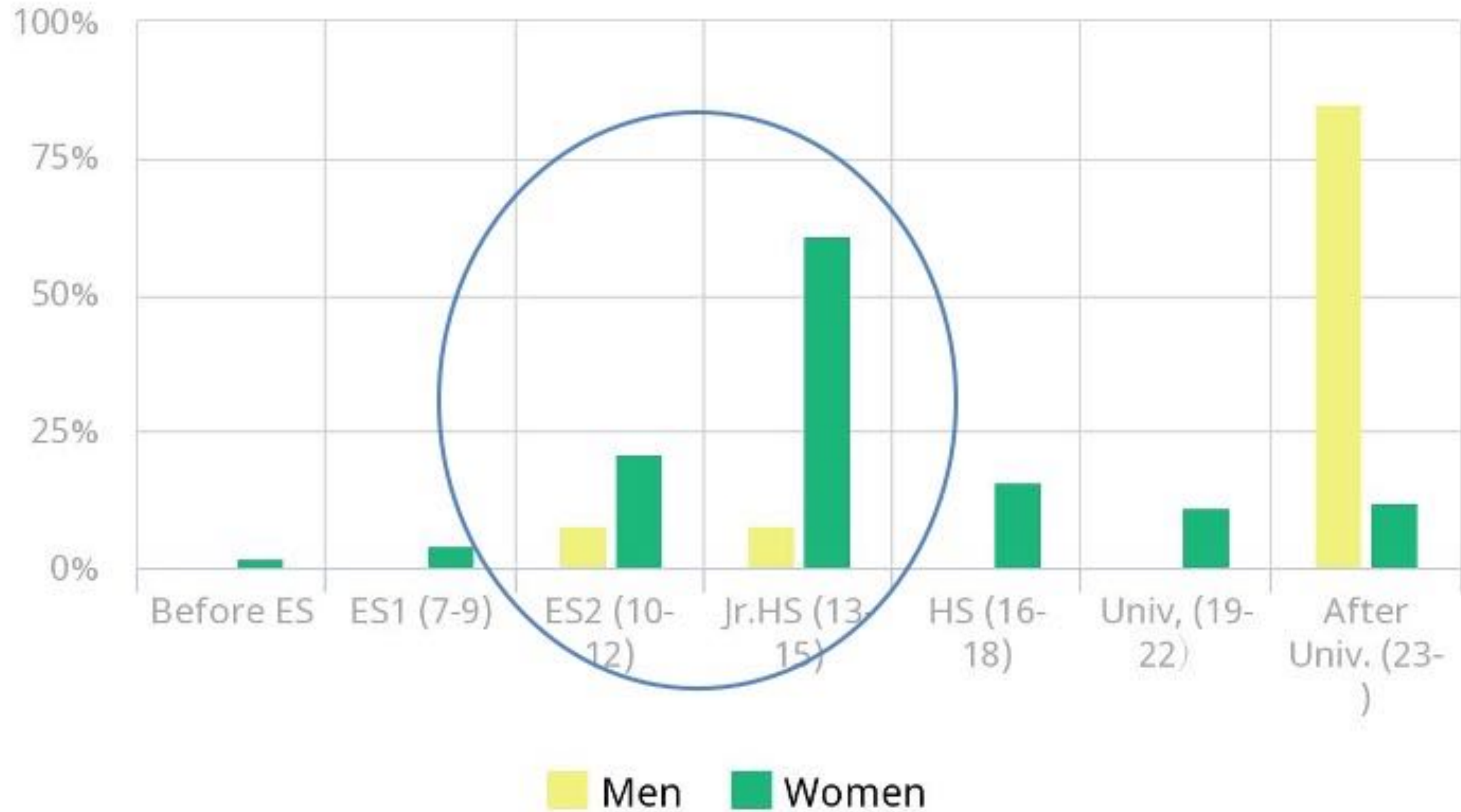
“正しい”医学、栄養学的知識を
教えれば済む話だろうか？

初めて痩せたいと思ったのはいつですか？

2016-2018年開催

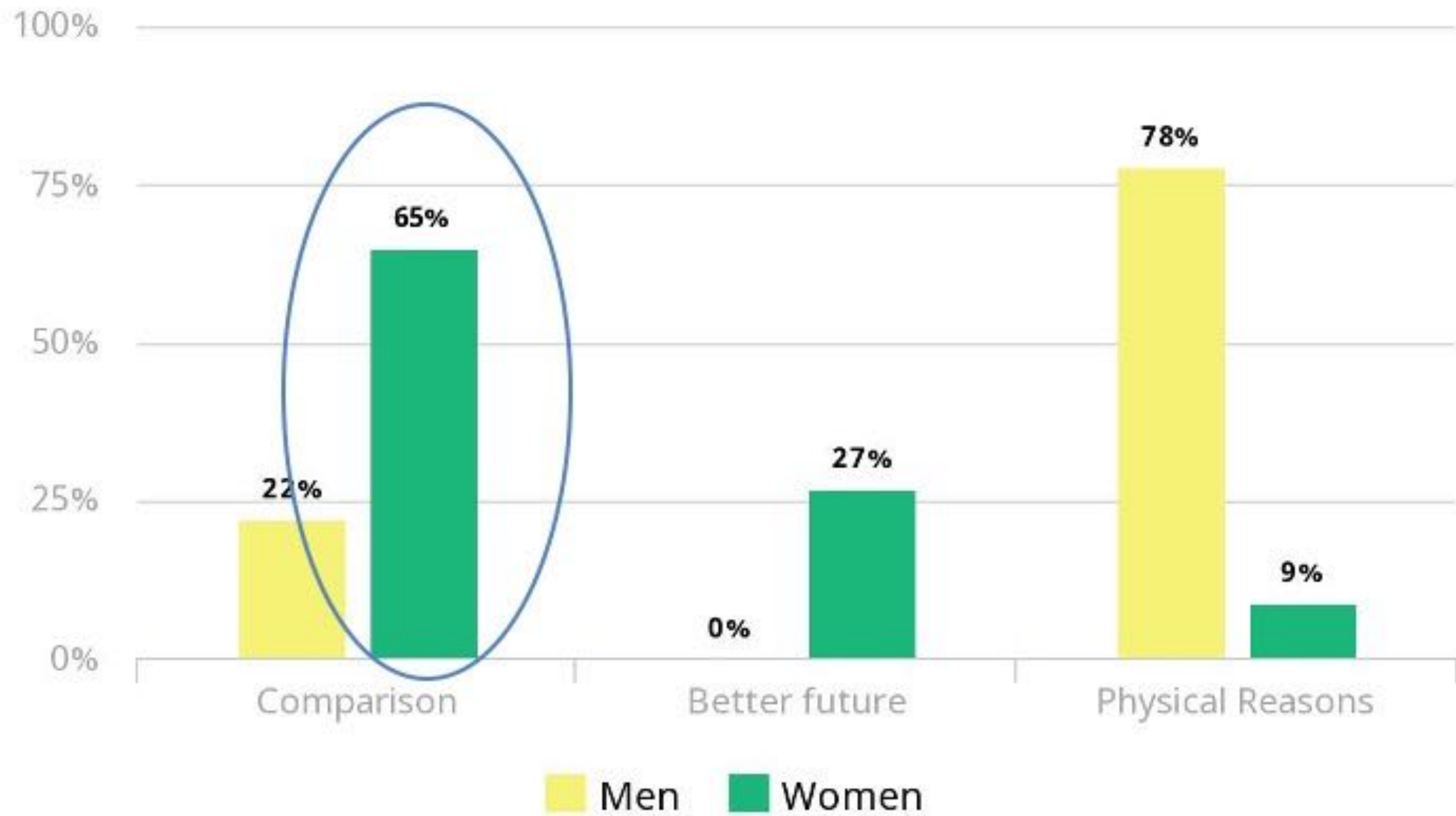
身体のリサーチアンケート：女性161名

When did they first feel like losing weight?



痩せたいと思ったのはなぜですか

The reasons of first wanting to lose weight



比較から起こる痩せたい気持ち

- 他者からのコメント
 - すごい太ったね、もう少し痩せなよ…（友人、異性、教員）
- 自分で自分を比較する
 - 以前よりも体重が増えた、写真を取ったら友人より太っていた、など
- 他人による他人の体型の指摘
 - ○○ちゃん、太っているよね、女の子は50キロ以下でいて欲しい
- 洋服のサイズ

人が比較の上で何かを変えようと思った時、
その背後には何らかの価値観があります



現代社会において痩せた身体は なぜ称えられるのか

- 社会の変化：社会の工業化に伴い飢饉の恐れが解消。貧しい人でも簡単に太ることのできる社会が訪れた。むしろ太っていることは病気の象徴とみなされる
- 予防の医学：病気は自己管理によって避けることができる。太っていることは自己管理ができない証拠

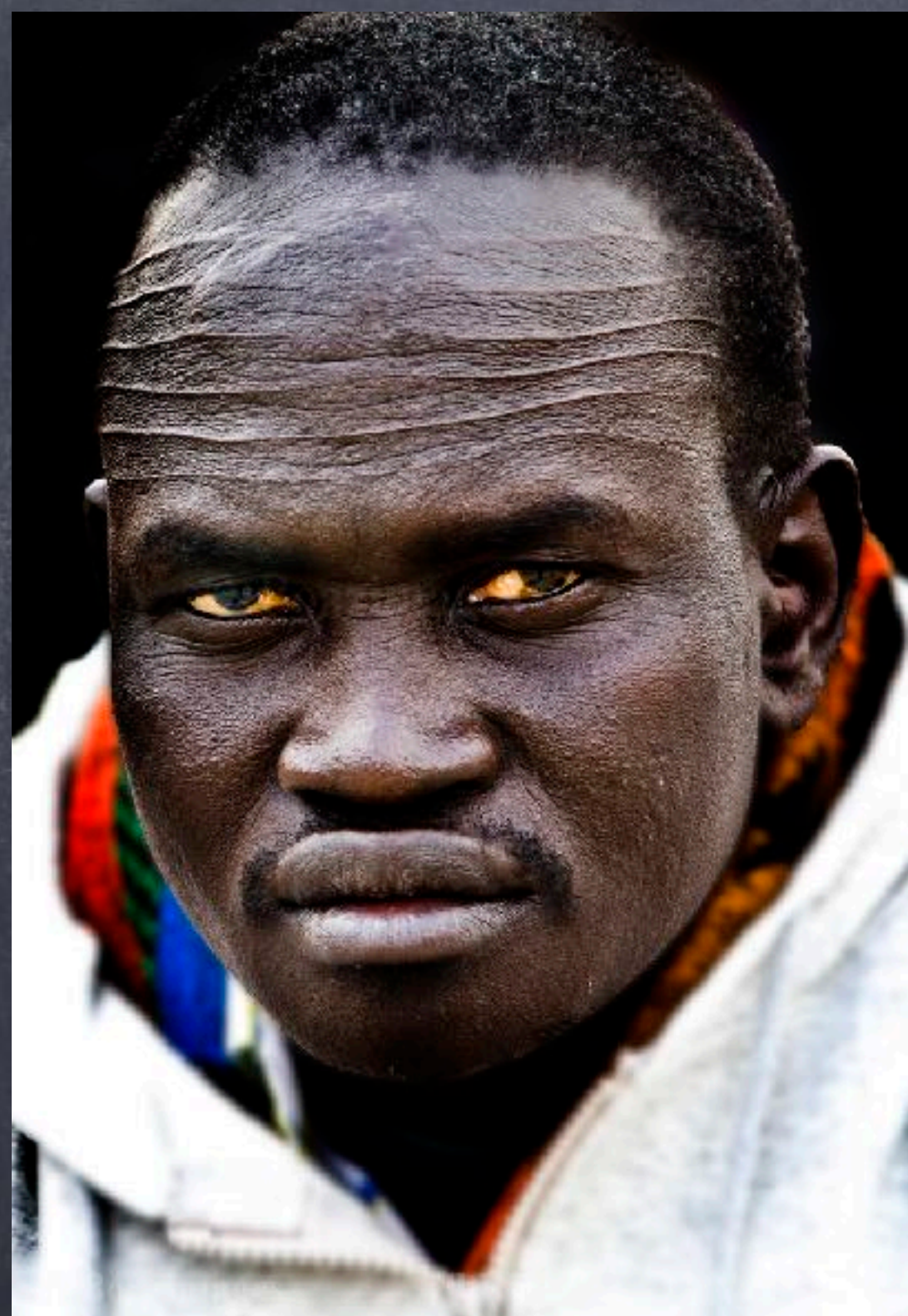
多様な理想体型

ミクロネシアヤップ島の女性

- 女性がおっぱいを晒すことは猥褻なことではない
- むしろ恥ずかしいのは太ももを晒すこと
- おっぱいに魅力を感じるのは子どもだけ。



大人になるための痛みと 美しさのための痛み



人は社会的にきちんとした「何か」として認められるためなら進んで健康を犠牲にします



とまらない やせ願望

なぜ痩せは加速するのか

One out of five women in their twenties is underweight in Japan
(BMI<18.5)



● Ideal ● Underweight

差異化の欲望と

ストーリーマーケティング

- 差異化の欲望：隣にいる人より、あるいは過去の自分よりもちょっとだけ優れていたいという、私たちのこころの奥底にある欲望のことです（フランス哲学者・ボードリヤール）

Q.多くの人が生活必需品を持っている今、差異化の欲望はどのように刺激されるのか？

医療人類学から母子健康手帳への提言

- 日本においてダイエットが女性にとって当たり前の実践になり始めたのは80年代あたりから
- 中高年男性がダイエット産業のターゲットになったのは2010年過ぎ
- まさに今の子育て世代の青春時代はこの潮流の中にあった
 - 子どもが親からダイエット法を学ぶ
 - 親が必死にダイエットをしているのを見て、子が太ってはいけないと学ぶ
- 個々の身体の高多様性に目を向けたり、妊婦に過剰な体重調整を強いたりする専門家や、ダイエット産業のメッセージから距離を取る低減をしてはどうだろうか
- 右記のグラフは必要なのか？

